**2017届日语专业毕业论文写作要求**

1. 论文长度不少于6,000词。
2. 论文结构包括标题、目录、中文摘要和关键词、日文摘要和关键词（单独成页）、引言、正文、结论、注释、参考文献等。正文(本文)一词不要出现在论文中。
3. 标题、作者姓名、年级专业为第一页。本人声明为第二页，中日文摘要与关键词为第三页、第四页，目录为第五页。从引言及正文开始编页码。
4. 论文编页从「はじめに」开始到「終わりに」结束。标题页、要旨页、目录页均不参加编页（会使用Word编页的同学，前面可编罗马数字页码）。页码设置在页脚居中。
5. 摘要(要旨)通常由一个段落，4至10个完整的句子构成。总长度不超过800词。关键词(キーワード)3至5个，词与词之间以分号隔开。关键词应是反映论文的主要内容且出现频率较高的词，它们往往就在标题与摘要中且多为名词，如：能用「～の調査」，就不用「～調査する」。
6. 引言(はじめに)的功能是：
	1. 介绍本课题
	2. 限定本研究范围
	3. 陈述本研究主要目的
	4. 陈述大致的书写思路
7. 在引言(はじめに)与结语(終わりに)之间的正文部分应分若干章节。章、节应当编号并根据其内容列出小标题。编号应前后一致。如主要章节用阿拉伯数字1. , 2. , 3. , ……排序，较小章节则用1.1, 1.2, 1.3…, 1.1.1, 1.1.2…。
8. 结论（まとめ）应与引语部分有所呼应。作者在这一部分将总结或复述文章的基本观点或回答引语部分提出的问题。还可就这一论题的进一步研究提出自己的设想。和引语部分一样，结论部分也不宜过长。
9. 注释(注釈)采取文中夹注的形式。
10. 参考文献（参考文献）指论文写作过程中作者参阅过的各种文献资料，包括书籍、报刊杂志文章、网上查找的各种资料等。作为毕业论文，参考文献应在**6**篇以上。内容包括：作者姓名、出版年份、书名或篇名、刊名、刊物的卷号或期号、文章的起止页码等。参考文献依作者姓氏（苗字）的26字母顺序排列。
11. 论文为Word形式打印稿，纸型为A4。
12. 每页字数与行数：39行×44字符。页边距：上下各2.54cm，左右3.17cm。正文行距为1.15。
13. 字号要求：一级标题为四号加粗，二级（包括以下）标题为小四号，正文为小四号。注释与参考文献为五号。中文用宋体，日文用MS Mincho体，英文及数字用Times New Roman体。（具体格式见下一页范例）

**《开题报告》各个栏目都必须填写，并应用日语填写。**

**日语专业本科毕业论文写作规范**

正标题MS Gothic体，三号，加粗并居中。副标题MS Mincho体，小三号，加粗并居中。

**カルチャーショックから文化自覚への沖縄から文化の変遷を見る**

**―琉球‧沖縄の文化政策から―**

列出作者、指导老师。MS Mincho体，四号，加粗并居中。

**氏 名：黄鍾方辰**

**指導教師：付 黎 旭**

列出所在班级、年级、院系、学校及时间。日语MS Mincho体，四号。数字Times New Roman体，四号。加粗并居中。

**中南財経政法大学外国語学部**

**日本語科2010級**

**2013年6月**

（题头空3行）

**本人声明**

（宋体小二号，加粗，居中，空一行）

本毕业论文（设计）是在导师的指导下由本人独立撰写完成的，没有剽窃、抄袭、造假等违反学术道德、学术规范和其他侵权行为。对本论文的研究做出重要贡献的个人和集体，均已在文中以明确方式标明。因本毕业论文（设计）引起的法律结果完全由本人承担。（小四号，宋体，行间距1.5倍）

本毕业论文（设计）成果归中南财经政法大学所有。

特此郑重声明。

（空六行）

毕业论文（设计）作者签名：

（空一行）

作者学号：

（空一行）

作者专业：

（空一行）

年　 月　 日

摘要

（“摘要”二字黑体，小四号加粗，居中，与正文间空一行）

近年来，随着对冲绳历史、文化的深入研究，冲绳学作为一门新的学科诞生，并受到世界各国学者的关注。冲绳经历了因中国文化的传入、萨摩入侵以及美军占领而产生的三次文化冲击，最终形成了如今独特的冲绳文化。因此，它又被称为“文化混血儿”。与冲绳文化相关的先行研究主要包括对琉球、冲绳的传统文化、民俗、方言和文化史的研究，但是文化政策和跨文化交际领域的相关研究并不多见。本文依据文化冲击理论和中国学者费孝通提出的文化自觉理论，构建文化政策、文化冲击和文化自觉的关系，并且以冲绳为例，通过分析古琉球、冲绳的文化政策，论述冲绳克服文化冲击、走向文化自觉的历程，同时，论证文化政策和文化冲击、文化自觉之间的关系。（**正文行距1.5，小四号，宋体）**

**关键词：**冲绳；文化政策；文化冲击；文化自觉

**“关键词：”字样，小四号，黑体，加粗。后面的关键词3-5个，用宋体小四号，关键词之间用分号隔开。关键词与要旨内容间空一行。**

**要旨**

（“要旨”字样用**MS Mincho体**，小四号，加粗并居中，与正文间空一行）

ここ数年、沖縄の歴史と文化を研究することの展開にしたがい、沖縄学は新しい学科として誕生し、世界国々の学者の注目を浴びたという。沖縄は中国文化の伝来、薩摩の侵入とアメリカの占領による三つのカルチャーショックを経験し、やがて独特な沖縄文化を形成したのである。したがって、「文化混血児」と呼ばれる。沖縄文化に関する先行研究は主に琉球‧沖縄の伝統文化、民俗、言語と文化史に対する研究であるが、文化政策と異文化コミュニケーション分野に関する研究はよく見られなさそうである。本論文はカルチャーショック理論と中国の学者‧費孝通によって提出された文化自覚理論により、文化政策とカルチャーショック、文化自覚の関係を構築してみたい。また、沖縄を例として、琉球‧沖縄の文化政策を分析することを通じて、沖縄がカルチャーショックから文化自覚へ歩んだ道を論じながら、文化政策とカルチャーショック、文化自覚の関係を論証したい。

**キーワード：**沖縄；文化政策；カルチャーショック；文化自覚

“キーワード：”字样用MS Gothic体，小四号，加粗。后面的关键词3-5个，用MS Mincho体，小四号，关键词之间用分号隔开。关键词与要旨内容间空一行。

**｛注｝中文摘要与日文摘要分别写在两页上。**

目次

（“目次”字样用**MS Mincho体**，小四号，加粗并居中，与目录正文间空一行）

[1.はじめに 1](#_Toc477606301)

[2.カルチャーショック、文化自覚と文化政策 1](#_Toc477606302)

[2.1カルチャーショックから文化自覚へ 1](#_Toc477606303)

[2.2文化政策とその作用 1](#_Toc477606304)

[3.琉球‧沖縄の文化政策に関する考察 1](#_Toc477606305)

[3.1琉球王国の文化政策によるカルチャーショック 1](#_Toc477606306)

[3.2日本の文化政策によるカルチャーショック 1](#_Toc477606307)

[3.3アメリカの文化政策によるカルチャーショック 2](#_Toc477606308)

[3.4復帰後の文化政策による文化自覚 2](#_Toc477606309)

[4.終わりに 2](#_Toc477606310)

[参考文献 3](#_Toc477606311)

[付録1 4](#_Toc477606312)

# 1.はじめに（一级标题四号加粗，MS Mincho体）

最近、沖縄文化は「チャンブルー文化」と呼ばれるようになった。薩摩侵入以前の古琉球王国独自の文化、中国文化、日本文化、アメリカ文化がミックスされて独特な意味を持つようになったという意味である。本論文は文化政策、カルチャーショックと文化自覚との関係を構築し、琉球、沖縄の文化政策を分析することを通じて、沖縄はどのようにカルチャーショックから文化自覚への道を歩んだのかを論じてみたい。（正文小四号，MS Mincho体）

# 2.カルチャーショック、文化自覚と文化政策

## 2.1カルチャーショックから文化自覚へ（二级标题小四号加粗，MS Mincho体）

カルチャーショックという言葉は1960にObergによって、はじめて提出され、自己の行動や考え方の枠組みを与える自文化が異文化に接した時に受けた精神的な衝撃を指す（胡文仲：P187）。その言葉が提出されてまもなく、異文化コミュニケーションの分野でよく使われ、全面的な理論にいたるまで発展してきた。カルチャーショック理論によると、カルチャーショックを受けた人の心理は普通蜜月期、隔離期、適応期という三つの段階を区切るようである。

## 2.2文化政策とその作用

フランス文化庁科学研究局のAugustinGirardによると、文化政策は最高の宗旨、具体的な目標と執行手段を組み合わせるシステムであり、社会組織の権威のある機関によって制定される。文化政策はその執行主体が民衆のイデオロギーに影響を与える重要な手段といえる。（宿琴：P52）即ち、執行主体は文化政策を通じて民衆の世界観、価値観などの文化心理を指導できよう。

# 3.琉球‧沖縄の文化政策に関する考察

## 3.1琉球王国の文化政策によるカルチャーショック

一三七二年、明国の皇帝が使者を琉球に派遣し、中山王·察度の入貢することを促成した。それに応えて、察度は弟の泰期を進貢使として遣わし、明国は琉球王を認知する冊封使を送ってきた。

## 3.2日本の文化政策によるカルチャーショック

一六〇九年、薩摩藩主の島津家久は琉球王国に侵入し、江戸幕府による幕藩体制の枠内に組み入れてしまった。その後、琉球側が守るべき「掟十五条」を申し渡した。「掟十五条」の中で目立つ項目は、国外との交易を薩摩によって統制されることである。

## 3.3アメリカの文化政策によるカルチャーショック

一九四五年、日本が沖縄戦で敗戦してまもなく、米軍は沖縄を占領した。アメリカは占領直後から文化政策を重視してきた。その文化政策は主に二つの方面に分けられる。

## 3.4復帰後の文化政策による文化自覚

沖縄における復帰運動の高揚にしたがい、沖縄は一九七二年に二十七年ぶりに日本へ復帰することになった。

表1　沖縄振興開発事業費の推移（補正後）

(表格需写名称，写于表格正上方。图需写名称，写于图的正下方。)

単位：100万円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 第1次振興開発計画72－81総額 | 第2次振興開発計画82－91総額 | 第3次振興開発計画92－01総額 | 沖縄振興計画02－09総額 |
| 教育‧文化振興 | 139,357 | 11.2% | 109,008 | 5.1% | 150,327 | 4.5% | 139,361 | 6.8% |
| 保健衛生 | 8,455 | 0.7% | 11,435 | 0.5% | 16,207 | 0.5% | 8,995 | 0.4% |
| 農業振興 | 24,116 | 1.9% | 33,661 | 1.6% | 29,587 | 0.9% | 24,112 | 1.2% |
| 非公共事業計 | 171,928 | 13.8% | 154,104 | 7.2% | 196,121 | 5.8% | 172,468 | 8.5% |
| 合計 | 1,249,219 | 100.0% | 2,134,845 | 100.0% | 3,373,451 | 100.0% | 2,034,465 | 100.0% |

（注）2009年度は概算決定

（出所）内閣府沖縄担当部局作成資料より作成

以上見てきたように、公共事業関係費には文化、教育振興に投ずる資金が一番多い。

# 4.終わりに

琉球‧沖縄の文化政策については、琉球王国の大陸文化に親しむ文化政策から日本の乱暴な文化殖民政策、アメリカの巧妙な文化殖民政策、復帰後の沖縄文化振興政策まで考察し、文化政策の推移によるカルチャーショックの移り変わりを論じ、文化政策、カルチャーショックと文化自覚の関係を試論した。一方、この考察を通じて、文化政策は多元世界における様々な文化の発展に対して非常に重要だということはよく分かった。

# 参考文献

（“参考文献”四个字四号加粗，MS Mincho体）

1. **中文参考书目样式**
	1. **参考书目样式**
2. 高宁：日汉互译教程。南开大学出版社。2003年10月。
3. 戴维·迈尔斯：社会心理学。候玉波等译。人民邮电出版社。2006年1月。
	1. **引用文章样式**
4. 李恒熙、李恒威：人的本质与欲望的冲突。中国社会科学文摘。2011年第4期。原载《哲学分析》。2010年第3期。
5. **日文参考书目样式**
	1. **参考书目样式**
6. 児玉一宏・国広哲弥・長嶋善一郎・山田進（1976）『言葉の意味』1、平凡社選書
	1. **引用文章样式**
7. 池上嘉彦（2010）「１．<認知言語学>から<日本語らしい日本語>へ向けて」、池上嘉彦・守屋三千代（編著）『自然な日本語を教えるために：認知言語学を踏まえて』、pp.17-61、大修書店
8. **英文参考书目样式**
	1. **参考书目样式**
9. Halliday,M.A.K.(1994,2nd edition)An Introduction to Funcational Grammar,London,Melbourne and Auckland:Arnold.
	1. **引用文章样式**
10. Jacques Derrida,Dissemination,Chicago,University of Chicago Press,1981,p.21.
11. **译文参考书目样式**
12. Neil R·Carlson：生理心理学。苏彦捷等译。中国轻工业出版社。2007年5月。

# 付録1

文法テストの調査票

如有调查问卷等，请附上

 (2017年3月修改)